

◆佳作
◆煙りたなびく里の春 (松崎)
◆梅川 記生 (戸神台)
(評) 春の訪れを告げるかのようにたなびく煙が豊かさ
と温かさを感じさせる一枚。

印西市観光協会主催

第 23 回 ふるさと発見フォトコンテスト

いんざいの原風景



ことばは、自分の気持ちを伝
えたり、他者とコミュニケーション
をとるのにもとても大切で
す。子どもは初め「あーあー」
「うーうー」という発声から始まり、
やがて「ババババ」「プー」などの
喃語でおしゃべりをしてくれま
す。一般的に、1歳半ごろから
「ワンワン」「プープー」など一語
文へと発達し、2歳ごろから二
語文を話すようになります。
しかし、ことばの発達には個
体差があり、ことばが遅いので
は？と心配する保護者も少なく
ありません。ことばは、子どもの
発達の中で一番目に見える部分
なのですが、話すことばが少なく
ても、親の言うことを理解でき、
指示に従えれば「ことばを溜め
込んでいる状態」といえます。
そして、ことばが発達するに
は必要条件が二つあります。一
つは、生まれたときからの脳の
機能(聴力、理解力、発語能力)
もう一つが養育環境です。発達
期に適正な関わり方をし、そ
の積み重ねがことばを理解し、
話せるようになるのです。
具体的には、赤ちゃんの時か
らのスキンシップや話しかけ、
絵本の読み聞かせや手遊びなど
対ヒトとの関わり合いが刺激と
なって積み重なっていきます。
テレビやビデオなどは、一方的
なやり取りとなってしまうため
良好な刺激とは言えません。
ことばの発達が個人差かそう
でないかの判断は、なかなかで
きません。心配な場合は、保健
センターまで相談ください。

さて、みなさまのご家庭でも
入学、就職などお子様の環境が
変わり、日々保護者の人も心配
されているのではないですか？
市では、その悩みを一人で抱え
ることのないよう各種相談窓口
を設置し掲載していますので本
紙15ページを参照ください。
思い起こせば、30年前私自身
両親に心配ばかりかけていまし
た。今、親の立場になり始めて
両親には感謝をしています。◎

いきいき生活情報

大事故を防ぐために
リコール製品情報の確認を！

「リコール」とは「消費生活
用製品安全法」に基づくものと
事業者が自主的に行う二種類が
あります。その意味は「製品の
不具合などで事故が発生した場
合、同種の事故(火災など)を
防ぐため、事業者が消費者に注
意喚起および情報提供を行い、
対象製品の回収・修理などを行
うこと」です。
リコールされた製品が起す
事故に遭わないために、新聞の
社告や店頭のパスター、イン
ターネットなどで提供される情
報には注意を払いましょう。
また、リコール対象製品を
使っていた場合は、すぐに使用
を中止して、製造者や販売業者
などに連絡を行きましょう。
リコール情報については、
「消費者庁リコール情報サイ
ト」<http://www.recalls.jp/>
or/ai/も活用ください。
また、日ごろから「製品の取
扱説明書を読み、正しい使い方
を理解する」「定期的に点検・
掃除をする」「安全マークを確
認することやユーザー登録がで
きる製品は登録をする」など、
習慣化することも大切です。



～ 50 ～

知っ得!
消費生活

リコールで疑
問点やお困りの
場合は、印西市
消費生活セン
ターにもご相談
ください。
印西市消費生
活センター(☎
3306・月
9時30分～正午、
午後1時～4時
30分)。

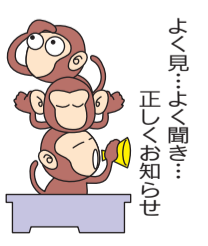
生まれたときからはじまる
言葉の発達



133

元気な食卓 218
豆腐つくねハンバーグ
いろいろ食べて生活習慣病予防!
材料(4人分)
A【鶏ひき肉200g、木綿豆腐400g、芽ひじき(乾)10g、卵1個、
万能ネギ5本、醤油大さじ1、片栗粉小さじ2】。
B【砂糖大さじ4、みりん小さじ4、醤油大さじ2、酢大さじ4、
ショウガ汁小さじ4、片栗粉大さじ2、長ネギ1本、ミニトマ
ト4個、サラダ菜8枚】。
作り方
①木綿豆腐はしっかり水気を切っておく。
②芽ひじきは水に戻し、戻ったら水気をきっておく。
③万能ネギは小口切り、長ネギは中の芯を取り、4cmの白髪ネ
ギにし水にさらしておく。ミニトマトは半分に切る。
④Aの材料をボウルに入れて良くこね、小判型にまとめる。
⑤温めたフライパンにクッキングシートを敷き、④をのせて中
火で10～15分ほど焼く。
⑥小鍋にBの調味料を混ぜ合わせながら煮立て、とろみをつけ
あんを作る。
⑦皿にサラダ菜を敷き、焼きあがったハンバーグをのせ、⑥の
あんをかけ、白髪ねぎとミニトマトを飾る。
★1人あたりの栄養価
エネルギー 280kcal、たんぱく質 22.0g、脂質 11.0g、塩分 2.2g。
提供…地区健康推進員のみなさん。

こちら編集室



よく見...よく聞き...
正しくお知らせ
秘書広報課広報広聴班